

4年	単 元 名	表を使って調べよう
算数		

1. 単元の目標

<ul style="list-style-type: none"> 資料を二次元表による分類整理をすることを理解し、それを活用して資料を二次元表に表し、読み取ることができる。 【知識及び技能】 資料を目的に応じて分類整理し、それらの特徴や傾向に着目して問題解決に適切な表の数値を読み取り、結論について考え、説明する。 【思考力、判断力、表現力等】 問題解決の過程や資料を分類整理した結果、二次元表を活用した問題解決の過程を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりする。 【学びに向かう力、人間性等】
--

2. 学校図書館活用のポイント※目標との関連も踏まえて

<ul style="list-style-type: none"> 2年生へのおすすめの本を紹介するために、学校図書館を活用した。二次元表の学習をとおして、2年生が興味をもちそうな本を考え、実際におすすめの本を選び、2年生にブックトークをしたり、実際に読み聞かせを行ったりした。 自分で探したり友達に相談したりしておすすめの本を選んでいくが、困ったときには、図書委員会や学校司書に相談するなど、学校図書館をとおして、いろいろな人とかわりを持つこともねらいとした。
--

3. 授業での活用場面

主な学習活動と予想される児童の反応(・)	○教師の支援 ◆評価 ☆学校図書館資料の活用に関すること
<p>1 学習課題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 2年生には、どんな本がおすすめかな。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 絵が多いほうが読みやすいから絵本じゃないかな。 文字図鑑じゃないかな。 <p>2 本時のめあてを確かめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 二次元表から分かったことや気づいたことを友達と伝え合い、2年生に紹介する本の種類を決めよう。 </div> <p>3 二次元表をもとに考察する。<>内はアンケート項目 <絵がある本が好きの人・文字を読むのが好きな人> 本の種類・・・絵本 理由・・・「絵がある本が好き・文字を読むのが好き」の数が「絵のある本が好き・文字を読むのがきらい」の数よりも多いから。 紹介方法・・・読み語り</p> <p><動物が好きの人・文字を読むのが好きな人> 本の種類・・・動物の図鑑 理由・・・「動物が好き・文字を読むのがきらい」の数が「動物が好き・文字を読むのが好き」の数よりも多いから。 紹介方法・・・新聞</p>	<p>○OPPDACの「A」と「C」の場面であることを確認する。</p> <p>○前時の学習をふりかえる。</p> <p>☆本についてのアンケートの結果を整理した二次元表から特徴や傾向について読み取り、おすすめの本の種類とその理由、紹介方法を書く。</p> <p>○ペアで考察→グループで考察することを伝える。</p> <p>○支援を必要とする児童には、二次元表の見方について教師と確認し、本の種類とその理由、紹介方法を定める。</p> <p>○グループ内で話し合った結果と理由についてホワイトボードに記しておく。</p> <p>○自分の考えの根拠となる数値がどこにあるのかを明確にしておくように伝える。</p>

<p>4 考察したことを伝え合う。</p> <p>①同一のアンケート項目を選んで考察したグループと考えを伝え合う。</p> <p>②同一のアンケート項目を選んで考察したグループと考えを伝え合い、付け加えや取り入れたいところを赤でホワイトボードやグラフに書き込む。</p> <p>③異なるアンケート項目を選んだグループと考えを伝え合う。</p> <p>4 全体共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二次元表のどこの数に注目するかで選んだ本の種類が違ったね。 ・自分のグループの二次元表だけでなく、他のグループの二次元表と比べるのもいいね。 <p>6 ふりかえり</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・選んだ質問項目でおすすめする本の種類が変わったね。 ・選んだ質問項目によって結果が違ったのがおもしろかったね。 ・おすすめする本の種類は違ったけど、絵本や図鑑など絵や写真がある本を選んでいる人が多かったね。 </div>	<p>○他グループとの交流の際、グループの半分が見に行き、半分は残って説明を担当することを伝え、意見や質問を聞けるようにする。</p> <p>○友達の見解を聞いて付け加えたいことがあった場合は、赤ペンで書き加えるよう伝える。</p> <p>○考察した結果の根拠となる数値を明確にできているものについては、全体で見せて確認する。</p> <p>◆2年生に行ったアンケートの結果を整理した二次元表から特徴や傾向について考察する活動を通して、2年生が読みたくなるような本の種類や紹介方法を考えようとしている。 (ノート、ホワイトボード、発言、行動観察)</p>
--	---

4. 考察（成果や課題等）

2年生へのアンケート結果を、二次元表を用いて分析した後、学校図書館の資料を活用したことで、おすすめしたい本を選んだり、学校司書に聞いたりして、2年生の児童がより興味をもてるような本を探している姿が見られた。

おすすめしたい本が手元にあることで、二次元表のデータを根拠に自分の考えを表現したり、友だちと考えを交流したりする活動が活発になった。